

美術科学習指導案

日時 令和3年3月2日(火) 13:40～
授業場 美術室

生徒 2年B組 計33名
授業者 更科 結希

1. 題材名

『挑戦し続けた表現から見えてくること』 「B鑑賞」(1) ア(ア)イ(イ) [共通事項] (1) アイ

2. 題材の目標

- (1) 時代に影響された表現方法の違いや形や色彩の組合せによる構成の美しさ、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 【知識・技能】
- (2) 表現方法の変遷やモチーフの構成から、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の内面や生き方を推し量ったり作品の構成や表現方法を追求する中で、作者の心情と表現の意図と創造的な工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 作者の表現を通して、美術の創造活動の意味や、主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習に取り組もうとする。 【主体的に学習に取り組む態度】

3. 題材観・生徒観・指導観

本題材は、北海道出身の三岸好太郎に焦点をあて、生涯をかけ表現した絵画作品がどのような影響や思いを持ち表されたものかを、

三岸好太郎は、画業わずか10年弱の期間に様々な表現方法に挑戦し、自分のものにしたことを踏まえ、作者の内面や生き方を推し量ったり、作品の構成や表現方法などを考えながら観賞することによってよさを感じ取ることに繋がると考える。

作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるための手立てとして、①表現の変遷と影響を与えた作品を関連づけていく活動を取り入れる ②三岸好太郎が晩年モチーフとして扱っていた蝶や貝をデジタルパーツにして、自分のモチーフとして再構成するなどして、三岸の追体験をしながら見方や感じ方を深める場面を設定する。

4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 時代に影響される表現方法の違い、形や色彩の組合せによる構成の美しさ、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	鑑 造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深めている。	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
技 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。		

学習指導要領から本授業にかかわる該当する内容のまとめ

B鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

(イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

(イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

(下線)・・・「知識」

(下線)・・・「思考力、判断力、表現力等」

「2 内容」及び「内容のまとめりごとの評価規準」

学習指導要領2内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	<p>〔共通事項〕</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>	<p>B鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めると</p>	

		ともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。	
--	--	---	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまりごとの評価基準	<p>・時代に影響される表現方法の違い、形や色彩の組合せによる構成の美しさ、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>[更科メモ] ※2の活動の際に作品の変遷が他者からの影響によるものを理解し、様々な挑戦を続けた経緯について推し量って考えている様子进行评估する。</p>	<p>・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方や感じ方を深めている。</p> <p>[更科メモ] ※本時2の学習活動において、自分の考えをもちつつ、他者の考えに対しても理解を示した上で、3の活動や4の作者の表現の意図について考え、述べている状態进行评估する。</p>	<p>・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に美術作品や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>[更科メモ] ※表現方法の変遷を理化したリ、モチーフを使って再構成する活動に、自分の考えをもって主体的に取り組んでいる様子、実際に取り組んだ成果物から評価する。</p>

6. 本時の展開 (1 / 1)

(1) 本時の展開

<p>学習活動 『児童・生徒の姿』</p> <p>○教師の働きかけ・発問, △補助発問, □指示・説明</p> <p style="text-align: right;">手立て</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>◇評価の内容</p> <p>・指導上の留意点</p>
<p>1 三岸好太郎「雲の上を飛ぶ蝶」から受ける印象を考える。</p> <p>○この作品、どんなことを考えて三岸は描いたのだろうか。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>△モチーフや情景は何が描かれているかな。</p> <p>・ずいぶん大きい貝 ・自分がこの貝かな～</p> <p>・海辺か? ・影?</p> </div> </div> <p>「のんびり貝」</p> <p>2 三岸作品（7点）から、わずかな期間で変遷した様子を捉える</p> <p>□北海道の画家三岸好太郎の作品を見てみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>A</div> <div>B</div> <div>C</div> <div>D</div> <div>E</div> <div>F</div> <div>G</div> </div>  <p>○画業生活10年の中でこれだけ表現方法が変化した三岸は珍しい画家かもしれません。なぜこんなにも変わっていたのでしょうか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・飽きっぽいから? ・表現方法を追求したかったから?</p> </div> <p>□DEF は同年、G や『のんびり貝』はそれ以降の作品です。D の作品はコラージュですが、この作品について三岸好太郎美術館の学芸員の方にその意図を聴いてみたいと思います。</p> <p>3 三岸が表現したモチーフを組み合わせて、表現を考えてみよう。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>○みなさんだったら、この三岸のモチーフを使って画面上にどんな表現を考えますか。</p> <p>□keynote 上で操作して、自分の作品にしてみよう。</p> </div> </div> <p>○どのようなテーマで構成したものか、タブレット上で交流してみよう。</p> <p>4 「のんびり貝」の主題や三岸の心情について考えてみよう</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>○この作品を描いていた時の三岸はどんなテーマや気持ちで表現していたか想像してみよう。</p> </div> </div>	<p>◇ [共通事項] スライドの記述などから、表現されている対象の様子や、形や色彩などの効果や全体や部分に着目して捉えることを理解しようとしているかを見取り評価する。 【知】</p> <p>←教室で7枚の作品の提示</p> <p>📡</p> <p>・わずか10年間で、様々な表現方法に挑戦したことや理由を学芸員さんより説明をいただきたい。</p> <p>📡</p> <p>Dの作品を実際に写してもらいたい。コラージュをすることで「世界を衣にする者を画面の中で遭遇させることで間隔に刺激を与えることの意図」があったこと等について触れていただきたい。</p> <p>📡</p> <p>・班別のスライド上で、個人としての考えで、モチーフの位置や重ねで構成する。</p>  <p>📡</p> <p>・学芸員さんから、生徒の表現について講評いただけたら面白い。</p> <p>📡</p> <p>・子供たちの意見を聴いていただき、ご感想をお聞かせください。</p>

